

出雲圏域プロジェクト全体評価及び成果指標の達成状況(平成25年度)

NO	プロジェクト	全体評価(総括・検証)	成果指標と達成率			
			項目名	H25目標	H25実績	達成率
出雲-1	素材生産の増産 対策推進プロジェクト	<ul style="list-style-type: none"> ・H25年度の森林経営計画の策定、森林簿情報の提供及び補助事業を活用した森林作業道の整備に取組み、施業地の集約化が図られつつある。 森林経営計画作成地を増やすための方法、事業者同士の連携拡大や木材生産体制の強化が必要。 ・伐採跡地更新では、モデル試験地での経過観察、補助事業を活用する伐採跡地の候補地を把握。 	木材生産団地(集約化区域)からの木材生産量 (m ³)	4,470	4,690	105%
			木材生産量 (m ³)	18,800	16,400	87%
出雲-2	確かな品揃えができる製品づくりプロジェクト	<ul style="list-style-type: none"> ・補助事業を活用した加工施設等の整備が進み、導入した機械を利用して県産材製品の品質向上が図られつつある。一部事業者の開発した3層パネルの新たな用途開発や一畑電車(株)の電車内木質化が補助事業の公募事業に採択されたり、一畑電車出雲大社前駅構内の木質化を補助事業により行う方向になる等、県産材活用の取り組みが進んでいる。 ・県外販売では、県外展示会等へ管内延べ10事業者が参加した。具体的な商談に繋げるには、市場ニーズの把握、ニーズに対応した製品開発、提供部材のまとまった量の確保が必要。 	人工乾燥材生産量(管内企業) (m ³)	2,090	3,000	144%
			県産材製品の販売量(県産材展示販売施設) (m ³)	700	1,120	160%
			製品の県外販売量(管内企業) (m ³)	300	600	200%
出雲-3	菌床生しいたけ生産振興プロジェクト	<ul style="list-style-type: none"> ・補助事業を活用して周年化に向けた栽培施設や新規生産者の栽培施設導入が図られている。 ・マーケティングでは、菌床生しいたけの新名称(旧:サンマッシュ)を公募しており、インパクトのある新名称で、県内外への販売促進を行っている。 ・今後増加する廃菌床の有効活用では、試作品の作成を進めていく。 	周年栽培農家の割合 (%)	30	32.4	108%
			生しいたけの出荷量 (t)	308	322	105%
出雲-4	出雲の砂丘海岸林再生プロジェクト	<ul style="list-style-type: none"> ・外園海岸整備推進協議会が加わり活動団体が3団体となり、活動地域が広がった。 ・プロジェクト推進会議等の協議の場の設定により、保全活動の実施に向けた協議、関係者間の情報交換が図られるとともに、海岸林の再生・管理に向けた認識が深まった。 ・みーもの森づくり事業、島根CO2吸収認証制度による支援を受けることにより、プロジェクト活動に必要な資金を確保できた。 ・各団体との事業実施に向けた協議を計画的に行い、保育、植栽、巡視活動等の活動を概ね計画どおりに実施できた。 	地域住民、ボランティア等の整備参加者数 (人)	400	636	159%
			砂丘海岸林整備のための作業実施面積 (ha)	0.78	1.31	168%